



ニュース

平成16年1月5日

社長年頭訓示

住友不動産株式会社
社長 高島準司

本年は、これまで遂行してきた「新成長三カ年計画」が終了し、新たに策定した「巡航成長三カ年計画」をスタートさせるという、当社にとって大きな節目の年に当たる。

新成長計画は、バブル期の業績ピークを、地価下落を撥ね退けて一年前倒しで達成した「再建五カ年計画」の後を受けて、新しい、画期的な成長ステージを刻もうとしたものである。計画策定時、誰も予想しえなかった長期のデフレで、事業環境が厳しい中ではあったが、当社はほぼその目標を達成する。

これに続く巡航成長計画では、積極路線を堅持しつつも成長速度を巡航速度にコントロールして、財務体質の強化を一段と進める。

日本経済は、デフレの長いトンネルの出口という転換点を迎えつつあるのかもしれない。しかし、それは一方で、競争の激化と優勝劣敗を意味する。淘汰の波に常にさらされる我々民間企業にとって、過去の成果への安住や環境好転への依存は禁物だ。

いかなる変化があろうともそれを乗り越えて成長を持続するため、これまでの五カ年計画、三カ年計画で築き上げてきたシステムを総点検し、大胆に改革し、非常識に挑戦する意欲を持ち続けようではないか。

以 上